

地域のイベントに参加しました

第35回 全日本 トライアスロン 皆生大会



2015年7月19日(日)米子地区では、アスリート・ファミリー・コーチ合わせて18名で、第35回全日本トライアスロン皆生大会にボランティアとして参加しました。折しも台風11号が米子地区を前日に直撃する予報でした。当日は通り過ぎて影響は少ないとの予報でしたが、少し心配でした。また、今年の大会参加者は、1,200名と今までの最高の参加者があるというので気を入って参加しました。しかし、みんなの熱気の方が強かったのか台風は前日の18日未明には熱帯低気圧に変わり、大きな影響はありませんでした。かえって台風の接近とともに気温が下がり、選手にも良い条件を運んでくれたと思います。

ボランティアの仕事は、ラン(マラソン)のエイドステーション(AS)で選手の人たちに、水や食べ物を準備して提供することでした。皆生大会は、トライアスロン発祥の地の大会として「鉄人」として有名で人気もありますが、水泳3キロ、自転車145キロ、ラン42.195キロと過酷なレースです。私たちは、中学生・高校生ボランティアがいなくなる夕方から最終ランナーが通過するまで、一生懸命応援しました。選手からは「ありがとう」「ありがとう」という声をかけてもらい、気持ちの良い達成感に満たされました。

お互いに助け合うことで心が通えることを実感します。私達、SOも応援してもらっています。来年も多くの人に参加して貰いたいと思います。

Special
Olympics
Nippon
Tottori



スペシャルオリンピックス日本・鳥取

ニュースレター

秋号
2015.10

世界大会に参加しました!



江口コーチ



水泳プログラム 江口かおりコーチがアメリカ・ロサンゼルスで開催された「2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会(ワールドゲーム)ロサンゼルス」にスタッフとして参加されました。

7月21日の選手団結団式のあと日本を出発し、7月21日~24日にホストタウンプログラム、7月25日~8月2日まで開会式・競技・閉会式を終え8月4日に帰国されました。



事務所移転セレモニー

7月1日(水)新事務局玄関前にて、公益財団法人鳥取県体育協会・一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会・スペシャルオリンピックス日本・鳥取の事務所移転セレモニーが執り行われました。SON・鳥取からは平井りえ会長代理として林由紀子副会長が出席し除幕式を行いました。



プログラム紹介

卓球プログラム(鳥取)

登録アスリート 26名
鳥取市 高齢者福祉センター体育館で毎月第2・第4日曜日に練習しています。ボランティアコーチの指導の下、楽しく活動しています。県外のSOの大会のほか、県内外の大会に参加しています。



水泳プログラム

登録アスリート 10名
米子市 鳥取県営米子屋内プールにて毎月第1・第3日曜日に活動しています。
先月はSON・鳥根地区大会に参加しフリーリレー(4x25m)で優勝しました。



スペシャルオリンピックスワールドゲームに参加して 水泳 江口かおり

一言でいうと、とても素晴らしい大会に参加させてもらった事をうれしく思います。日本での合宿でもナショナルゲームとは違い、他の競技のコーチ達と知りあえ、色々話を聞いてとても勉強になりました。ロサンゼルスまでの移動時間(10時間)はツラかったですが、機内のTVも音楽も全て日本の物でホッとしました。3日間のウエストコビーナでのホストタウンプログラムは、ホテルはとてもきれいで過ごしやすく、朝から昼までは各競技練習に行き、午後からは町全体が歓迎ムードでコンサートやイベント、バーベキューなど様々なおもてなしをしていただきました。みなさんととても素敵な笑顔で対応していただき、時差ボケもふっとびました。大会会場は2手にわかれて行われ、大学の寮が宿舎になりましたが、とても広く部屋も使いやすかったです。(びっくりしたのはコインランドリーが無料だったコトでした...)大学の構内もとても広く、歩いていたら散歩しても外に出ない感覚で、校内には生協・スターバックスも充実していました。開会式は夕方から始まるのですが、水泳はその当日に予選が始まり朝5時朝食というハードなスケジュールからのスタートでした。プールも25Mプールで水深が6Mのプールが3つもある会場で、なぜか水が海水のように塩水で辛かったです。でも、毎日深いプールで練習をし、みんな慣れて怖がる事もなくベストタイムを次々と出し、メダルをもらって喜んで日本に帰国できた事はとてもうれしかったです。田の競技に比べ、そこにも観光にも行けずでしたが、その分色々話をしたり散歩に行ったり歌をうたったり...とストレスを少しでも解消できる様にコーチ陣で毎晩ミーティングをして色々アスリートのことがわかりました。私も少しは役に立てたと思います。最終3日目は熱を出すアスリートも多かったのですが、全員が無事に帰国できて本当に良かったと思いました。

第3回地区大会

水泳競技

6月7日(日)

米子市 鳥取県営米子屋内プール
参加アスリート:6名

SON・鳥根からも応援にお越しいただき、少人数で和やかに開催しました。中海テレビ放送の取材もあり、アスリートたちは張り切って競技に臨みました。



卓球競技

6月28日(日)

ゆりはま大平園 体育館
参加アスリート:33名

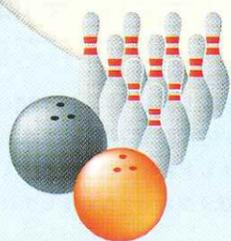
社会福祉法人 敬仁会 池井輝夫副理事長より激励のお言葉をいただき、33名のアスリートたちが熱戦を繰り広げました。今年は初めて県外アスリートの参加(SON・山口より)があり、アスリートたちは大変良い刺激を受けました。閉会式では各組ブービー賞のアスリートに「会長賞」としてプレゼントが贈られ終始、笑顔いっぱいの大会となりました。



5月24日の総合開会式後、6月7日の水泳競技を皮切りに各競技が開催されました。

参加アスリートたちは「私たちは精一杯力を出して勝利を目指します。たとえ勝てなくても、頑張る勇気をあたえてください。」のアスリート宣誓の通り、日ごろの練習の成果を充分に発揮し、全員が最後まであきらめず競技に臨みました。どの競技もアスリートの1年間の成長が見えた大会でした。ボランティアの皆様には審判等で世話になりました。お陰様で有意義な大会となり、無事全競技終えることができました。各競技に参加したアスリート・ファミリー・ボランティアの皆さんお疲れ様でした。

第3回地区大会に際し、株式会社 戸信 代表取締役社長 戸田 暖久 様 社会福祉法人 敬仁会 会長 藤井 省三 様(順不同) よりご協賛いただきました。心より感謝申し上げます。



陸上競技

7月12日(日)

大山町 名和スポーツランド
参加アスリート:10名

県スポーツ課 小西 慎太郎課長より、アスリートたちに激励のお言葉をいただき、少ない人数でアットホームな雰囲気の中開催しました。天候にも恵まれ、地区大会の最後を飾るに相応しい大会となりました。



ボウリング

7月5日(日)

鳥取市 スターボウル
参加アスリート:7名

男子・女子ともに大接戦の大会でした。ストライクやスペアが出るとみんなでハイタッチをして大変盛り上がりしました。



EKS

Eunice Kennedy Shriver

EKSデー“ユニファイドアクト”ユニファイドスポーツ交流会

9月26日(土)、SON・鳥取EKSデーイベント「ユニファイドスポーツ交流会」が社会福祉法人敬仁会 ゆりはま大平園 体育館にて開催されました。

スペシャルオリンピックスの創設者であるユニス・ケネディ・シュライバーは、2009年8月11日88歳で亡くなりましたが、SOでは彼女の功績に敬意を表して2010年から毎年9月の第4土曜日をEKSデーとしています。

今年度は9月26日がEKSデーでした。世界中の各地区でEKSデーイベントとしてユニファイドスポーツイベントが開催されました。

SON・鳥取ではSONプロモーションDVD《~Be a fan~》を鑑賞しSOへの理解を深めた後、ユニファイドスポーツ交流会として卓球・フライングディスクを楽しみました。

SON・鳥取の評議員で、社会福祉法人敬仁会 藤井省三会長にはお忙しい中会場にお越しいただき、激励のお言葉を頂戴いたしました。

卓球ではアスリートとファミリー・ボランティアがダブルスを組みました。初めてダブルスを体験したアスリートたちが多く最初は戸惑っていましたが、ボランティアのみさんの指導により楽しくダブルスで交流しました。



フライングディスクは団体戦で審判なども体験しながらにぎやかにプレーしました。

全員で卓球・フライングディスクを楽しんだ後はお楽しみ抽選会や会長がサプライズでプレゼントを準備していただき「会長賞争奪じゃんけん大会」で盛り上がりしました。



EKSデーとは?

SOの活動は、故ケネディ大統領の妹、ユニス・ケネディ・シュライバーがはじめた活動です。

障がいのある人にもスポーツを楽しんでもらいたいという願いを込めて、自宅の庭を開放して行ったデイキャンプがSOの始まりです。その後、知的障がいのある人たちにスポーツを通じ社会参加を応援する活動として1968年にSOが設立され、現在では170カ国以上の国と地域で、400万人以上のアスリートと100万人以上のボランティアが参加する国際的な大きな団体となりました。

2009年8月11日、ユニスは逝去しましたが、今日の社会に対する彼女の貢献に敬意を表して、SOでは毎年9月第4土曜日を「EKSデー」としています。

また、「知的障がいのある人とともにスポーツを楽しむ」というユニスの遺志を継いで、障がいの有無にかかわらず、ともにスポーツを楽しむイベント(ユニファイド・アクト)を世界各国で行います。



ユニファイド・アクトとは?

「ユニファイド」は「いくつかのグループが集まって一つのグループなる」ことを意味する英語です。知的障がいのある人たちにスポーツを提供することで社会的インクルージョンの促進を目指すスペシャルオリンピックスでは、知的障がいに対する理解を深めてもらうために、障がいの有無、年齢、性別などに関わらずスポーツが好きな人たちが集まり、思いっきり楽しむ日を作ることにしました。

それが「ユニファイド・アクト」です。また、イベントに参加することが障がいを理解する第一歩、つまり行動(アクト)になります。

